

会員報告

宮古島ライブ

伊藤 靖幸

2016年「アネラ音楽祭」で「Daniel45」は演奏をさせてもらいました。今回さらに調子にのってしまい、去る2017年10月6日(金)に宮古島ライブに行ってきたので報告します。

今回の宮古島ライブは、沖縄で活動する「サポートセンターケントミ」が主催する音楽祭です。第6回アネラ音楽祭がきっかけで、今回の「ケントミファミリーとずみ仲間たち」出愛に神謝！地域交流会 in 宮古島に呼ばれました。「Daniel45」は私と宮野秀樹さんの頸髄損傷者と非障害者のダニエルさんと構成する3人組です。バンド名にも使われているダニエルさんですが、日本人です。私はハーモニカと歌、宮野さんは歌、ダニエルさんはギターという役割です。今回、演奏出来るのは2曲ということで、話し合いの結果「オールドルーキー」と「ZOO」に決まりました。「ZOO」は菅野美穂さんがドラマで歌っていたことでも有名ですね。さて、練習開始となったのですが、問題がでてきました。

1つ目の問題は、3人全員で練習する日が少ないということです。全部で10回も出来ませんでした。それでも、それぞれが個人練習を重ね、3人で集まれる時は、短期集中で練習したことでなんとか形に出来ました。

2つ目の問題は電動車椅子での移動でした。兵庫県から宮古島へ飛行機で行くためには、私と宮野さんの電動車椅子は、大きさの問題で乗せられないと言われました。貨物船に電動車椅子だけを乗せて、身体は飛行機で行くという案も考えましたが、断念し、考えた結果、那覇空港までは電動車椅子で行き、那覇空港で手動車椅子に乗り換え、宮古空港に行くことになりました。日建リース工業株式会社から手動車椅子をレンタルして、OAS航空に電動車椅子を保管してもらうことになりました。17:00に那覇空港出発して宮古島に着いたのは18:00過ぎでした。夕食後、ホテルに行き、次の日のライブに備えました。宮古島の移動は「青湖園 社会福祉法人ユーツム会」から福祉車

両をお借りしました。宿泊先は「ホテルアイランドコーラル」で、3人部屋でした。部屋の中は、広く、車椅子でも問題なく使えました。車椅子からベッドへの移動も「トラベルトラック」を使い、介助者の腰痛予防を考えました。



トラベルトラック

また、外泊すると、洗髪が出来なく、頭が痒くなったりします。しかし、今回泊まったホテルでは浴室に入れて、洗髪が出来ました。やり方は、車椅子をチルトとリクライニングさせ、一人が頭



洗髪してもらっているところ

を支え、もう一人が頭を洗い流しました。頭が洗えて最高でした。しかし、三田と宮古島の気温差に慣れず、あまり眠れませんでした。

朝食は、ホテル内にあるラウンジで朝食を食べました。数種類のパン、コーヒー、ゆで卵1個だったのですが、シンプルながら美味しかったです。僕は、パン6種類、コーヒー4杯も食べました。特に紫芋パンは絶品です。お腹もいっぱいになったところで、準備をして10:00に出発し、会場である「知的障害者授産施設みやこ学園」に向かいました。着いたところで、理事長である伊志嶺博司(いしみねひろし)さんに挨拶をしました。会場を確認するとかなり大きく、100人以上は入る大きさで、一気に緊張してきました。

その後、弁当を食べているときに、プログラムを確認すると、Daniel45の演奏曲は「オールドルーキー」しか書いていませんでした。どうやら時間の問題で1曲になったようです。こうなったら「オールドルーキー」を「心を込めて演奏しよう!」と思いました。

14:00からサポートセンターケントミのケンさん(我如古盛健理事長)の挨拶で始まりました。



我如古盛健理事長の挨拶

出演者は、県内外から来られており、踊り、歌、楽器演奏をされていました。その中で、同じ兵庫県から来られていたグループもおられました。3人組の「神戸アッサンブレ」です。よさこいソーランを踊り会場を盛り上げていました。そして、いよいよ「Daniel45」の順番が近づいてきました。演奏直前は心臓バクバクです。司会者の合図でDaniel45の出番です。宮野さんが、Daniel45の紹介をしてから演奏を始めました。ハーモニカ演奏は練習通り出来たのですが、歌はもっと練習しないとイケないなと思いました。宮野さんの歌のおかげでうまく聞こえたかもしれませんが、僕が練習して、思いを込めて歌えたら、もっと良くな



Daniel45の演奏

ると感じました。そうはいつでも、頸損ですから難しいところがあります(苦笑い)。でも頑張ろうと思います。そして、次のライブでは、自分が納得できるハーモニカ演奏と歌を披露できたらいいなと思います。

今回の「ケントミファミリーとずみ仲間たち」出愛に神謝! 地域交流会 in 宮古島は新聞、ニュースにも取り上げられました。障害者の活動が知ってもらえたことはとても嬉しいことでした。

今回、宮古島ライブに呼ばれて、続けることの大切さを実感しました。「アネラ音楽祭」で大賞を頂いたことで、自分でも出来るんだと自信が持てました。そして、続けていくことで今回の「宮古島ライブ」も参加することが出来ました。

今後も音楽活動を続けていき、重度障害者でも可能性があるということを知ってもらいたいと思います。

宮古島ライブに、協力してくれたスタッフ、関係者の皆様、本当にありがとうございました。